



就労準備支援担当者養成研修 3日目

支援プログラム・メニューの開発



2015年7月29日
(公財)沖縄県労働者福祉基金協会
就職・生活支援 パーソナル・サポート・センター
岡野みゆき

●この講座の目標

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。

●この講座終了時には！

- ◎地域・対象者に合わせたメニューを創造したい！
- ◎できない理由ではなく、できる方法を探す！
- ◎仲間を増やす！ チームで！

●対象者ってどんな人？

最長で1年の計画的・集中的な支援により一般就労に就くことが可能であると見込まれるが、複合的な課題を抱え、

- ・生活習慣の形成・改善が必要
- ・コミュニケーション能力などの社会参加能力の形成・改善が必要
- ・自尊感情や自己有用感を喪失
- ・就労の意思が希薄である又は就労に関する能力が低い

支援する上で大切にしていること

自分の力だけでは自立することが難しい
⇒ 人や社会とのつながりの手助け！

1. 相談者の状況、訴え、背景を把握・理解し共感する
(信頼関係構築 ⇒ 応援者として認めてもらう・アセスメント)
 - ・社会との接点を失い、孤立しがち(失業や対人関係スキルの未熟さなど)
 - ・客観的に考えることが難しい。混乱している、思考のくせ(認知のゆがみ)
2. 寄り添い型支援(精神的な寄り添い・孤独感を無くす意)と問題・課題の認識
 - ・孤立感を払拭し、共に問題解決に取り組む姿勢
(ひとりじゃない。一緒にやっ払いこう)
 - ・本人が自らの課題・問題を整理、認識するよう支援する(気づきの支援)
3. 自己肯定感情を高め、自らが解決の主体となりうることを重視した支援
(本人の持つ能力の活用・能力を引き出す・または能力を身に着ける)
 - ・本人を認める ・エンカレッジ(勇気づけ) ・エンパワメント
(自身の力で問題や課題を解決していく力や能力を獲得すること)

支援者も要支援者も対等！ 支え合い！

■就職準備プログラム(セミナー)内容の見直し

対象者に合わせた支援メニューの必要性



目の前の相談者一人ひとりに必要なことは何か？という視点で！ 支援メニューが増えた！！

【コミュニケーションセミナー】
あいさつ・(声を出す・目を合わせる)



【畑・美化作業、ボランティア体験等】
・屋外に出て、集団の中での活動
・人と関わらないでもいい作業



【マイナス思考を変えるセミナー】
・コミュニケーションに課題
・思考のくせの修正が必要
SST・アサーション



【作業療法的セミナー】
・自分のペースで屋内で個人作業
絵を描く・陶芸・字を書く



【キャリアプラン】
想いのマップ・カラーージュ(ほしい物)



にに合わせて支援メニューが増えた
相談者の状態と興味・能力・価値観



【就職準備セミナー】
(企業実習前漫画セミナー)

担当者制の個別相談 + セミナー担当との協働

同じ場を共有しながらの 個別自信回復体験（経験し直し）プログラム

対象者：傷つき体験、うまくいかないことが続いている人も多い

就労準備支援事業に参加したいと意欲的か？

参加してもらうにはどんな動機づけが必要か？



あなたは自分が苦手なこと、不安なことにみんなの前で挑戦できますか？

挑戦するには……

自分ができること

興味があること

自己肯定感、自己有用感



就労準備支援事業の場の設定！①

➤ 少人数制

様々な阻害要因(特性など)を複数持つ方が多いため、目配り・気配り体制)

➤ 講義型 △ ⇒ 参加型 ・ 体験型 ○

(自己開示、承認、自己肯定感・自己有用感)

➤ プログラム式 △ ⇒ 半オーダーメイド式○

(個人個人の目標設定と変化に合わせた柔軟な対応)

* できること、興味のあること、不安が少ないことからスタート！

能力・興味・価値観などそれぞれに合わせたメニュー

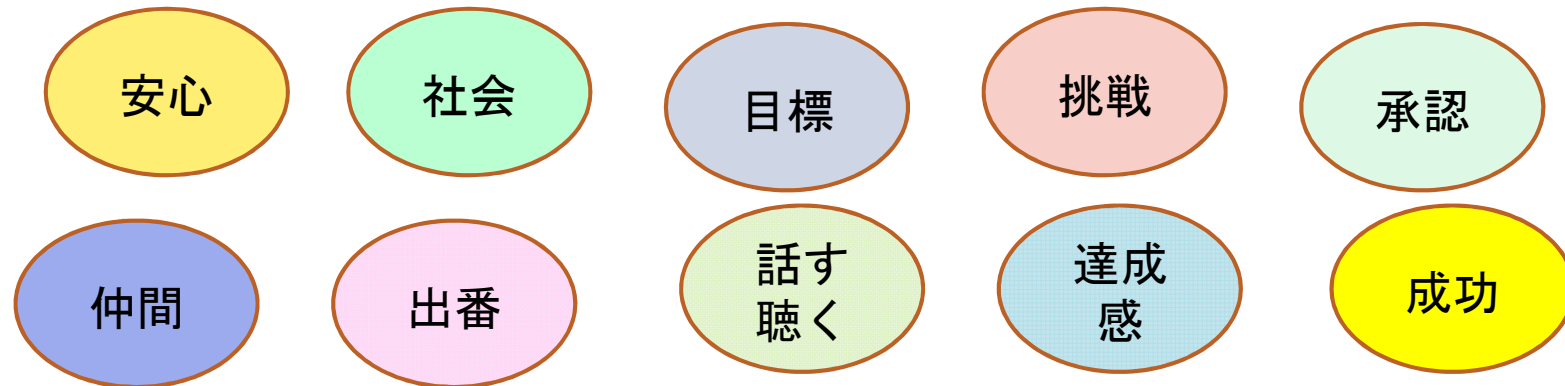
「スモールステップ」で強みを伸ばし、課題に挑戦する場(基礎能力の形成)

○ 毎回のセミナーで具体的に「できたこと、向上していること」のフィードバック、「ありがとう」と言われる場面を通して承認する場面を繰り返す

就労準備支援事業の場の設定！②

自己理解・挑戦・成功体験・経験し直し・自己有用感の醸成
⇒ 自信回復「就労への基礎能力をつける」

就労準備支援事業の「場」にもとめられること



様々な「場(機会)」の提供
⇒ 経験し直し・学び直し
マイナス経験を「プラス経験」に上書きする場

主体性
勇気づけ

「スモールステップ」で**強み**を伸ばし、課題を克服する場

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！①

あなただったら、どんなメニューを作る？（入り口として）

○対象者は？

入りやすさ：興味・能力・価値観・できる事

①体力がある・動くことが好きな中年男性 ⇒

（例）畑作業、美化作業など

②孤立している中年男性 ⇒

（例）パソコンセミナー、料理教室、陶芸、
地域ボランティア（清掃など）

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！②

あなただったら、どんなメニューを作る？

○対象者は？

③人と関わるのが苦手・他人との関わりを避けている、
自信がない ⇒

(例) 絵を描く、陶芸、パン作り、畑作業、コラージュ、
コミュニケーション基礎編等

④就労可能なのに意欲が低い ⇒

(例) ボランティアで「ありがとう」と言われる体験、
セミナーでの出番、企業見学ツアー、企業実習等

相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！③

あなただったら、どんなメニューを作る？

30代男性（両親と同居）
コミュニケーションに課題のひきこもり歴あり。発達障がいのボーダーライン？
お金を使いすぎる

50代男性（一人暮らし）
社長経験者、事業が上手くいかず倒産。アルコール依存、うつ病発症

40代女性（一人暮らし）
パワハラや職場のいじめで退職。DV被害者経験あり

パソコン

企業実習

ボランティア

畑作業

パン作りと販売

アルコールセミナー

陶芸

コラージュ

キャリアプラン

家計管理

清掃

コミュニケーション

その他



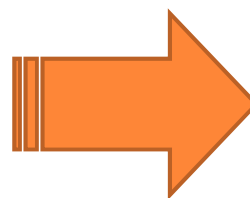
相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！④

あなただったら、どんなメニューを作る？

○メニューを分類

- 作業療法系
- 運動系(体を動かす)
- 依存症系
- 認知行動療法系
- コミュニケーション系
- ストレスマネジメント系
- キャリアプラン系
- ビジネスマナー系
- スキル(資格)系
- 知識系

居場所からスタートして
分類されたメニューの中
でもスモールステップの
プログラムあり！



相談者の特徴と支援メニュー作成のポイント！⑤

あなただったら、どんなメニューを作る？

○パソコンセミナーと一口で言っても…

同じタイトルでもスモールステッププログラムあり！



第1ステップ

来ることから、休むときには電話、1人で作業(2時間)

第2ステップ

好きなときに来て練習(使いたいときは声をかける)

第3ステップ

ワード・エクセル・インターネット興味を広げる

第4ステップ

入力メインで「仕事発注(模擬職場体験①)」

第5ステップ

2人1組で調べ物(好きなテーマ)と発表

第6ステップ

仕事分担「仕事発注(模擬職場体験②)」

無理なく徐々に就労
への力がつく流れる
メニューの多様性。
参加者に合わせて
プログラムを作成！
自己肯定感
UP！

就労準備支援の流れのポイント！①

①自立相談支援事業担当との情報共有

(健康状態、障害要因、特性、意欲、課題、目標など)

②本人との面談(事前相談)

現状を「確かめ表」を使って確認

健康面、体力面、生活状況、興味、意欲、飲酒、睡眠、生活リズム、ひきこもり度、家族関係、働く意欲、コミュニケーション力、興味のある職種等

* チェックすることで、「自己分析、自己理解」できる。受講生、支援員双方で目標設定することなどに繋がる。

③オリエンテーション

⇒ 受講開始

就労準備支援の流れのポイント！②



受講開始

○共通のプログラムではあるが、一人ひとりに合わせた目標設定と振り返りを行う視点が必要。



セミナー前後の個別支援（振り返り・落とし込み）
：承認＋（課題の確認）＋次の目標確認

自己選択・自己決定

自立相談支援事業・他機関との連携の視点も！！



日常生活自立支援



社会生活自立支援



就労自立支援

就労準備支援の流れのポイント！③

まとめ

○生活リズムの立て直しから参加する方

同じ時間にスタートすることから始め、リズムを取り戻す！

最初の週は、2時間／日からスタートし、徐々に通所の時間を長くする。

毎日起きて、毎日参加して、ご飯を食べて、体力をつけて、人と話して、力を合わせて、その先へ♪

自分だけでできること(朝起きる、休む時には連絡する、食事を取る)

- 社会に一步出てみる(他人と同じ空間にいる)
- 社会で人と関わってみる(話す、同じ空間で作業する)
- 共同で作業する(協力が必要)
- コミュニケーション訓練
- 仕事の現場に触れてみる(実習、体験)
- キャリアプラン

連続性のあるセミナーの効果！

- 信頼関係の構築
- 居場所ができる ○仲間ができる
- 本人も自らの現状を様々な角度から確かめることができる
- 毎日のステップを見る、付き合うことができる
- 変化・進捗・習熟が実感できる
- 支援員にとって、本人状況のアセスメントができる
- 次の段階へ向けた緻密なスクリーニングができる

多様なメニューの効果！

- 初めての体験で気づきの大きなきっかけになることもある。
苦手だと思っていた、避けていた。だけど挑戦してみたことで大きな変化に繋がることも多い。(自己決定・自己選択！！無理強いはしない！)

どんなセミナーのテーマがあるのか・・・

強みを伸ばし、
課題に取り組む！

日常生活自立支援

〔 外に出てみよう
・個人ワーク 〕

クリニカルアート（絵を描く）

PC（ステップ①②）

清掃①・花植え①・畑作業①

（植えつけ、収穫他）

調理実習①・家計管理①

食の大切さ①

ドリームマップ

（欲しいもの目標をコラージュ）

片づけ講座・ボランティア①

手びねり陶芸・ストレッチ

アルコールとの付き合い方など

社会生活自立支援

〔 集団の中に入る
→役割を持つ 〕

PC（ステップ③④⑤）

清掃②・花植え②・畑作業②

調理実習②・食の大切さ②

家計管理②・救命講習

インプロ①

SST①

（生活編コミュニケーション訓練・ロープレ）

認知行動療法

マイナス思考からプラス思考へ

パン作り&販売&接客体験

ボランティア②など

就労自立支援
(就労をより意識した段階のセミナー)

PC (ステップ⑤)

SST② (仕事編)
自己理解セミナー
職歴の振り返りセミナー
企業実習前セミナー
求人広告読み方セミナー
仕事理解セミナー
未来プランニング
身だしなみ講座
マイナス思考からプラス思考へ
パン作り&販売&接客体験
ボランティア③
企業実習見学ツアー前講座
就労定着準備セミナー

PC (ステップ⑥)

求人の探し方セミナー
企業実習前セミナー
志望動機作成セミナー
面接マナー (面接練習)
電話応募セミナー
講和「働くとは」
認知行動療法的セミナー
企業実習見学ツアー
就労体験
企業実習

複数センターの協働
自立相談支援事業・他機関との連携の視点も！！

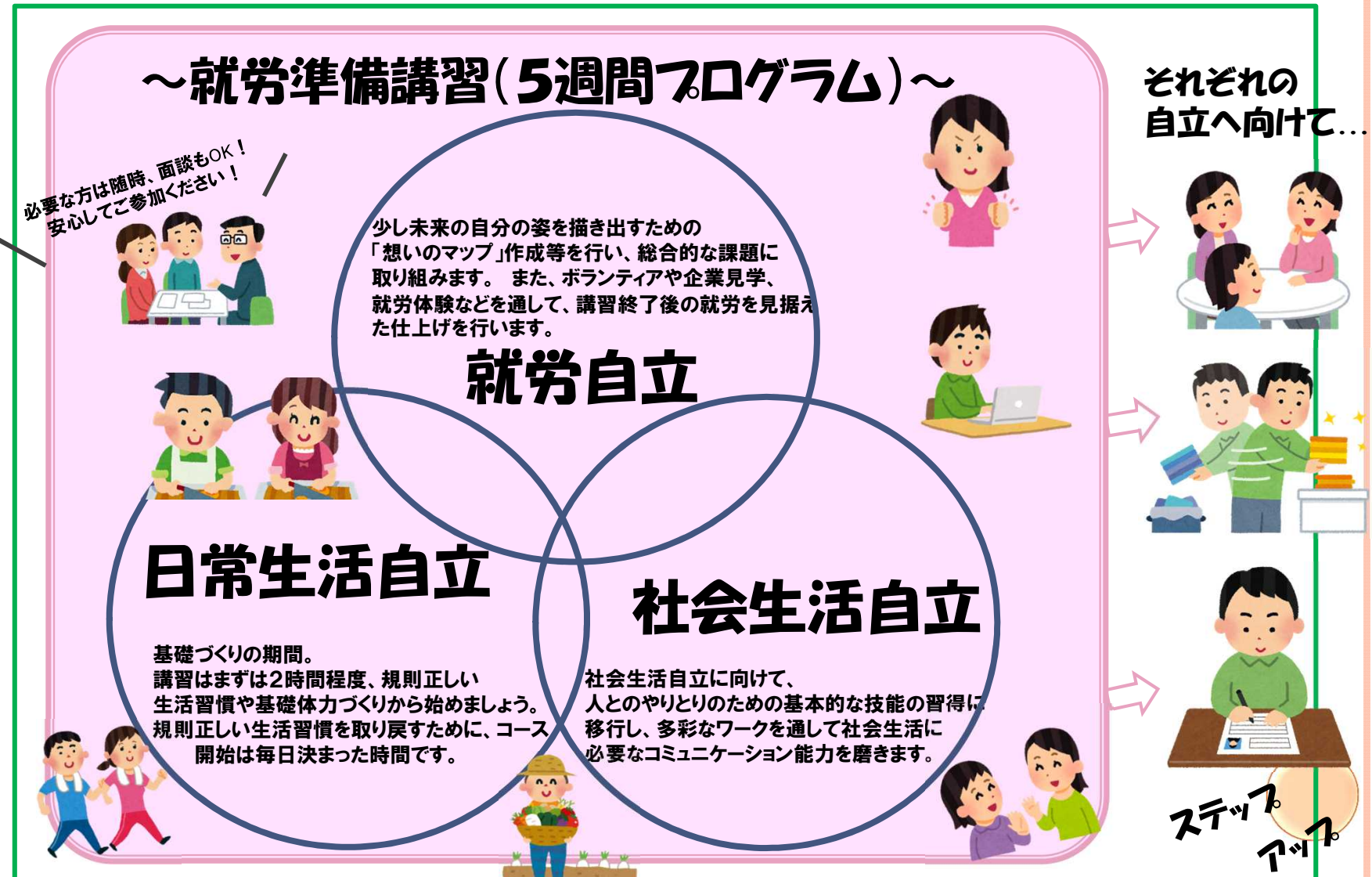
セミナーメニュー

受講生の興味・適性・能力に合わせて企画 (段階別)

* 地域によってセミナー内容異なる

* プログラムは相談者の状況に合わせて

就労準備支援の流れのポイント！③ 当センターの例



※この事業は生活困窮者自立支援制度に基づき、(公財)沖縄県労働者福祉基金協会が受託・運営しています。

《日常生活自立支援》

対象：生活リズムの立て直しや健康管理など生活習慣の形成や回復が必要な方



農作業

働いて汗を流すのってこんなに気持ちがいいことだったんですね。



清掃②(ボランティア)

夢が叶いそうな気がします。
夢を持つ、語るなんて何十年ぶりだろう...夢っていいですね。頑張りたい気持ちになりました

調理実習①



人の輪の中に入ることは緊張したけど、担当相談員の励ましで頑張ってきて良かった。久しぶりに他人と目を合わせた。またみんなと会いたい

なりたい自分・ほしい物探しセミナー



【ねらい】

- ・イメージが明確になり、潜在意識に働きかけることができる。
- ・目標を叶えた状態をイメージさせてくれるので、自然とセルフイメージが高まる。



《社会生活自立支援》

就労の前段階として、社会とのつながりをもつ。仲間づくり、協力して作業を行う事で、気遣いが生まれる。ボランティア活動を通して「ありがとう」と言われる体験から就労意欲の喚起を目指す。コミュニケーション訓練にも力を入れている。できないと思っていたことへも挑戦し、乗り越え自信の回復に繋がる場面も多い。自己理解が深まると同時に、安全な場で勇気を出して挑戦している。面談では見えない適性が見え、その後の支援に活かしている。



保育補助(ボランティア)②

目を大きくあけて話をするだけでも変わることになりました。行動力がつくようになり、少しずつ自信が持てるようになりました。



美化作業・花植え作業②

インプロ② (自己表現のエクササイズ)

6つの力をつけよう!

コミュニケーション力・柔軟性・表現力行動力・
協調性・発想力



コミュニケーションセミナー①



「ありがとう！」って職員の方に言われました。感謝されるのって何年振りだろう。うれしいものですね。またやりたいです。(けっこう疲れた…)

《就労自立支援》

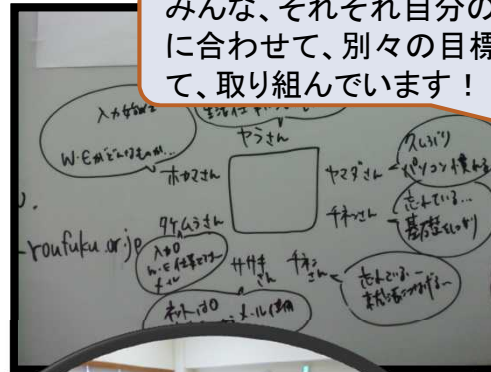
アサーションセミナー



一般就労に向けた実践を意識したトレーニング。コミュニケーションに課題がある方が多いので、実際に職場等で困った経験を基に認知行動療法を活用して偏った認知の修正を促す。求職活動に向けたトレーニングやキャリアプラン、就労に向けたパソコン訓練などを行う。

みんな、それぞれ自分のスキルに合わせて、別々の目標を立てて、取り組んでいます！

難しいけど、先生が毎日ていねいに教えてくれます。上達してきてうれしい！



面接に自信が無い人のための発声と身体のレッスン



パソコン就労セミナー

就労体験



自分の気持ちを素直にかいたり、絵におきかえるのは、難しいけど楽しかった。前に進みたい。

就労準備セミナー (仕事をする上での心構え & キャリアプランニング)



相手の身になって気持ちのいいあいさつなんて考えたこともなかった。とても学びがありました。

SST②(社会技能訓練 コミュニケーション)

地域の社会資源を活用

就労(実習)を通じた成長・気づき

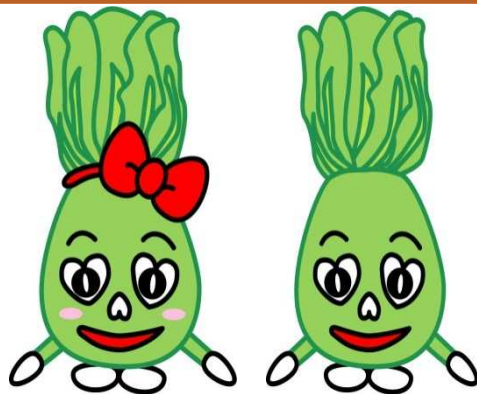


他機関、他事業、NPOなどとの連携による

実習受入れ



より多く売れるために、「ロメインレタス」のキャラクターを考えて、絵の具で絵を描いてみました。それをパソコンセミナー受講生がきれいにパソコンで作ってくれました。



働ける場があって嬉しいです。苗植えから始まって、収穫・袋詰め、販売までいろいろ経験させてもらいました。畑の仕事もそうですが、仕事の幅も広がってきました。何より、かなり体力がついてきました。楽しい！！



企業実習で大切にしていること

◎一人ひとりの実習の目的と目標の明確化(スモールステップ)
自立相談支援事業との連携

◎支援員が実習体験をしてマッチング、企業の現場職員との
信頼関係構築、ジョブコーチ的支援(必要に応じて)

◎振り返りを大切に

本人+支援員+職場の担当で振り返り(事業所訪問)

○本人:できた! 次に進めそうな気がする!

○支援員:次につながるアセスメント



居場所
安心していられ
る場所

**スモール
ステップ。**

役に立つ

**楽しく
社会参加**

**環境が変われ
ば人は変わる**

仲間

**就労準備支援事業
キーワード**

**地域巻き込
み力**

**経験を
いかす**

わくわく

経験し直し

自立

出番、役割

アセスメント

まとめ

◎意欲の低い人

⇒就労準備支援セミナーの入り口は入りやすく！

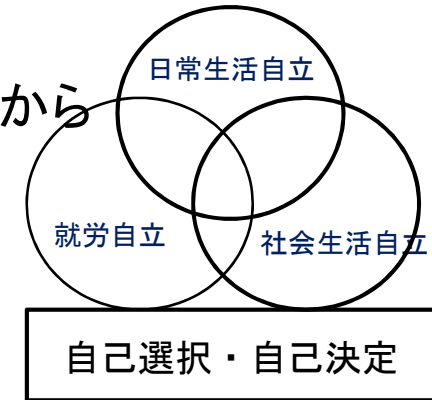
その人の「興味・能力・価値観等」に合わせたメニュー作り

⇒多彩なメニュー

何がその人の意欲喚起のきっかけになるか分からないから
いろいろなメニューがあった方がいい。



自己実現



◎ステップアップ

⇒自己肯定感を高めるためスモールステップでのメニュー

その段階に応じたメニューが必要

出来た！出来そうな気がする
次のステップへの準備が整う！



◎半オーダーメイド的な進め方

⇒プログラムはあるが、一人ひとりの目標設定と承認

対象者の状態に合わせた多様な支援メニューが効果的



まとめ

◎生活困窮者自立支援制度の各事業

「自立相談支援事業」「就労準備支援事業」「就労訓練事業」

「家計相談支援事業」「一時生活支援事業」

「生活困窮世帯の子どもの学習支援」

地域にある「社会資源」各機関、各事業との連携



連携で相談者の
可能性が広がる

◎「就労準備支援事業」では

居場所～集団の中での学び～就労体験を通じた学び

就労体験・企業実習先をまだ見つけることができないなら、

「就労準備支援事業」を通して補えること、できることはたくさんある。



◎「できない理由」ではなく、「できることから一步一步着実に」

仲間を増やす！ 地域というチームで

スケジュールの組み立て方

- A. 曜日ごとのメニューが決まっていない
- B. 曜日にこだわらないステップアップ方式
決まった範囲の中で
生活リズム ⇒ 社会性 ⇒ 就労スキル
- C. 曜日ごとのメニューが大方決まっている。
生活リズムを整える

地域の状況、対象者の状態によって異なる
今のあなたの地域でできることから！



お疲れ様でした。

**補足資料として
次のワークで使います**



A. 曜日ごとのメニューは決まっていはいない

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|-------------|---------------|---------------|-------------|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | ビジネス マナー | 職場体験 | 畑作業 | 休み |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 休み | ボランティ ア | キャリアプ ラン | しゃべり場 | コミュニ ケーション | 職場体験 | 休み |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 休み | コミュニ ケーション | ビジネス マナー | 畑作業 | ボランティ ア | しゃべり場 | 休み |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 休み | 畑作業 | 職場体験 | コミュニ ケーション | 自己理解 | ボランティ ア | 休み |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
| 休み | コミュニ ケーション | しゃべり場 | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |

B. 曜日にこだわらないステップアップ方式 (公財)沖縄県労福協のスケジュール(例)

| 週 | 内容 | 詳細 |
|---|--|---|
| 1 | オリエンテーション 事前相談・確かめ表 ウォーキング 清掃 フィールド作業 面談 振り返り | オリエンテーション ⇒顔合わせ。こんにちは 事前相談など ⇒今の様子をいっしょに確かめよう ウォーキング・清掃 ⇒まずは体ならしと体力づくり フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜を作ってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう |
| 2 | 花植え作業 ワーク① ワーク⑤カードスピーチ レク体操 フィールド作業 面談 振り返り | 花植え ⇒花植えて建物を飾ろう ワーク① ⇒字をゆっくりていねいに書いてみよう ワーク⑤ ⇒自己紹介ってこんなに簡単！オシャレって楽しい！ レク体操 ⇒ストレッチで体をほぐして、いろいろゲーム！ フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜を作ってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう |
| 3 | ボランティア ワーク②お金どうする？ ワーク③認め合うこと ワーク④こんな時どうする？ ワーク⑥コミュニケーション フィールド作業 面談 振り返り | ボランティア ⇒人のために何かやってみよう ワーク② ⇒お金の出入り確かめて、やりくり上手になろう ワーク③ ⇒じぶんのこと伝えて、相手のこと聞いて ワーク④ ⇒人にうまく伝えるワザを身につけよう ワーク⑥ ⇒言葉ではっきり伝えよう、楽しく伝えよう フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜をつくってみよう 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう |

B. 曜日にこだわらないステップアップ方式 (公財)沖縄県労福協のスケジュール(例)

| 週 | 内容 | 詳細 |
|-----|--------------|--|
| 4 | ワーク⑦伝達ゲーム | ワーク⑦ ⇒絵で伝えられる?文字で伝えられる? |
| | ワーク⑧協働ゲーム | ワーク⑧ ⇒他の人といっしょに力を合わせて助け合いながら |
| | フィールド作業 | フィールド作業 ⇒畑で体を動かして野菜をつくってみよう |
| | 職業訓練ガイダンス | 職訓ガイダンス ⇒資格や技能を身につけて、そして仕事へ |
| | グッジョブセンターツアー | ツアー ⇒仕事の探し方おぼえて、ためしに探してみよう |
| | 面談 振り返り | 面談 ⇒何でも気軽にどうぞ 振り返り ⇒毎日の調子や目標をいっしょに確かめよう |
| 5 | ワーク⑨調理実習 | ワーク⑨ ⇒みんなで手分けして作ってみよう、食べてみよう |
| | ワーク⑩想いのマップ | ワーク⑩ ⇒少し未来の自立した自分の姿を思い描こう |
| | 企業見学 | 企業見学 ⇒なるほどなるほど |
| | 就労体験 | 就労体験 ⇒自分だったらどうやって働こうかな? |
| | 面談 | 面談 ⇒まだまだ何でも気軽にどうぞ |
| | 振り返り | 振り返り ⇒最初の頃を思い出して。こんなに違うっ! |
| | 聞き取り相談 | 相談など ⇒これからどうする?訓練?就職? |
| 修了式 | 修了式 ⇒おめでとうっ! | |
| 前後 | 事前個別面談 | 面談 ⇒ゆっくり話そう、ていねいに話そう、簡潔に話そう、 相手に分かるように話そう |
| | 事前説明会 | |
| | 終了後個別面談 | |

C. 曜日ごとにメニューが決まっている

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---------------|------------|--------------|-----|-------------|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 休み | コミュニ ケーション | ボランティ ア | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 休み | コミュニ ケーション | ボランティ ア | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 休み | コミュニ ケーション | ボランティ ア | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
| 休み | コミュニ ケーション | ボランティ ア | パソコン セミナー | 畑作業 | ビジネス マナー | 休み |

就労準備支援担当者養成研修 3日目

支援プログラム・メニューの開発

目標：

対象者の状態に合わせた支援メニューの作成の必要性を理解する。

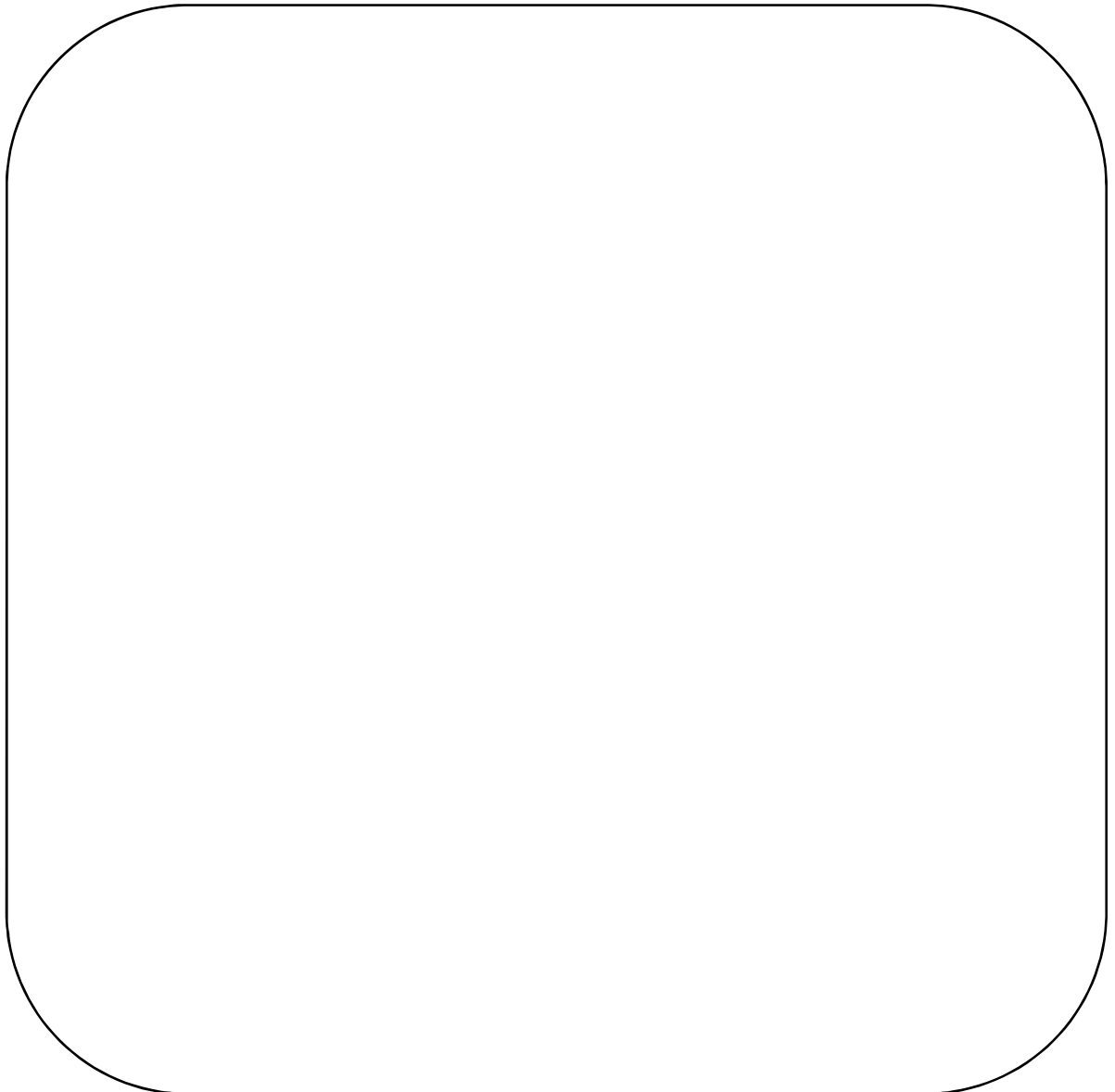
- 実際にプログラムを作成してみよう。

演習1

頭の体操！！

あなたが考え付くセミナーメニュー（プログラム）をできるだけ多く付箋紙に書き出しましょう！ 就職支援の一般的なメニューだけでなく、一風変わったメニュー、自分の地域で取り入れてみたいメニューという視点も入れて考えてみましょう！

付箋紙に記入（セミナー名、目的、内容など）して、このスペースに張り付けましょう。



演習2

テーマ；相談者に合わせたメニューを開発してみよう！

Q：母親と二人暮らしの40歳の男性。母親の年金で暮らしており未就業期間が15年。

（親の施設入所に伴い、自立相談事業に繋がった）その他にも40代後半以降の単身生活をしている男性がセミナーへの参加を渋っている状況である。頑固、気が弱い方などコミュニケーションに課題のあるも多い。そのような対象者向けの1か月のセミナープログラムを各グループで1つ作成しましょう。

ポイント

1か月のプログラムの中のセミナーメニューを2つ考えてみましょう。


1. セミナーへ参加することへの不安やためらいがある方が多いですが、まずはセミナーに参加してみようという気持ちになってもらえるように、ストレングス視点で参加しやすいセミナーを考えてみましょう！

*自分がそのセミナーの講師をできるできないではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考える

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に「セミナー名、内容、目的など」を記入して張り付けましょう。



②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

1. 真ん中の模造紙に①で記入した各自の付箋紙に書かれているセミナー名や内容、目的等を説明しながら張り付けましょう。内容が似ているものは近くに貼ってください。

(グルーピング)

③みんなでそのグループで取り入れるメニューをひとつ選んでください。

| |
|-------|
| タイトル |
| 選んだ理由 |

2. 次にコミュニケーションに課題のある方が多いので、コミュニケーション力をつける工夫を凝らしたメニューも取り入れたいと思います。メニューを考えてみましょう。

*自分がそのセミナーの講師をできるできないではなく、こういう相談者層にはこんなセミナーがいいのでは・・・という視点で考える

①個人ワーク

まずは、自分自身でできるだけ多く考えてみましょう！

付箋紙に記入（セミナー名、目的、内容など）して、このスペースに張り付けましょう。

②グループワーク

グループのみんなで共有しましょう。

1. 真ん中の模造紙に①で記入した各自の付箋紙に書かれているメニューの内容や目的等を説明しながら張り付けましょう。内容が似ているものは近くに貼ってください。

(グルーピング)

③みなさんのグループで取り入れるメニューをひとつ選んでください。

| |
|-------|
| タイトル |
| 選んだ理由 |

演習3

各グループごとの「参加しやすいメニュー」と「コミュニケーション力をつけるためのメニュー」がそれぞれ一つずつ決まりました。

では、

グループで1か月の就労準備支援プログラムを作成してみましょう！！

地域に帰ったら、すぐに使えるように考えてみましょう！！

- ①**演習1**で記入した付箋紙の内容と目的などもみんなで共有して模造紙に張り付けてください。

- ②内容が近いメニューを集め、それぞれにタイトルをつけましょう。

(例) 生活リズム、居場所、体力づくり、自己理解、コミュニケーション訓練、ボランティア、就労体験、キャリアプラン、ビジネスマナー、その他

- ③これまで出てきた付箋紙を使って、一か月のプログラムを組み立てましょう。

スケジュールの組み立て方

(例)

- A. 曜日ごとにメニューが決まっていない。

生活リズムを整える、参加しやすい

























- B. 曜日にこだわらないステップアップ方式

決まった範囲の中で 生活リズム ⇒ 社会性 ⇒ 就労スキル

- C. 曜日ごとにメニューが決まっている。

模造紙にカレンダーを記入し、メニューを記入した付箋紙を張りながら1か月のプログラムを作成しましょう！

模造紙

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---|---|---|--|--|---|
| | | 1  | 2  | 3  | 4  | 5 |
| 6 | 7  | 8  | 9  | 10  | 11  | 12  |
| 13 | 14  | 15  | 16  | 17  | 18  | 19 |
| 20 | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26 |
| 27 | 28  | 29  | 30  | 31  | | |

付箋紙

研修を通しての気づきなどを記入しましょう。